

38. <分詞>

47 《分詞》日本語に下さい。

分詞には、「現在分詞」と「過去分詞」の2種類がある。

まず、中1の進行形で学んだ「～ing」を現在分詞という。

【～している】と、進行中の動作を表す。

(1) Taro is running in the park. ※Taro = running という関係になる。
太郎は ()。 (太郎 = 走っている)

もう一つは、中3の受動態と現在完了で学んだ過去分詞のこと。

【～される、～された】と、受け身の意味を表す。

(2) English is spoken in many countries. ※English = spoken
英語はたくさんの ()。 (英語 = 話されている)

この(1)(2)のように、**be 動詞の次に分詞(現在分詞・過去分詞)があるときは**、
【主語のようすを説明】している。

たとえば(1)では、running が、
主語である「太郎」のようすを説明していることになる。

太郎のようすはどうですか？→走っているんですよ。ということ。

(1)

(2)

48 《分詞》日本語に下さい。

名詞のようすを動詞だけが説明しているとき…
→動詞を分詞にして【分詞+名詞】の順番にする。

(1)走っている少年を見なさい。※どんな少年か→【走っている少年】

Look at the () ().

(2)あの壊れているドアを見なさい。※どんなドアか→【壊れているドア】

Look at that () ().

(1)		(3)	
-----	--	-----	--

ポイント<現在分詞か過去分詞か>

動きが見えたら現在分詞(～ing)にする。

動きが見えなかったら過去分詞(～ed,不規則)にする。

(1)は「走っている少年」、(2)は「壊れているドア」のように、
どちらも「～ている」という日本語になっている。

「～ている」だからといって、両方とも本当に「～ing」でいいのだろうか。
動きが見えるかどうかで判断すること。

「あの走っている少年はたろうですよ」のように、「走っている」は動きが目に見える。いっぽう「この壊れているドアを直してください。」のように、「壊れている」は、動きが見えない。

49 《分詞》並べ替えなさい。

名詞を、動詞とその他の語句がセットで説明しているとき→
動詞を分詞にして【名詞+分詞+その他の語句】の順番にする。

(1)公園で走っている少年 ※どんな少年か? → 公園で走っている少年
(in the park / running / the boy)

(2)亜紀が作った夕食 ※どんな夕食か? → 亜紀が作った夕食
(made / dinner / by Aki)

(1)

(2)

(3)公園で走っている少年を見なさい。※どんな少年か→【公園で走っている少年】
Look at the (running / boy / in the park).

(4)あの太郎が壊したドアを見なさい。※どんなドアか→【太郎が壊したドア】
Look at that (by Taro / broken / door)

(3)

(4)

50 《分詞》並べ替えなさい。

【名詞＋分詞＋その他の語句】の3点セットを作る方法

まず、【公園で走っている少年】のように、3つのセットに分けます。あとは、逆にして書けばOKです。つまり、【a boy running in the park】のように、3点セットを逆の順番で書けばいい、というわけです。

(1)私はあの速く走っている少年を知っています。

I know that (running / boy / fast).

(2)これは亜紀が作った夕食です。

This is (dinner / by Aki / made).

(3)日本で作られた車はとてもいいです。

(made / the car / in Japan) is good.

(4)亜紀が食べた昼食はお寿司です。

(Aki / lunch / by / is / eaten) sushi.

(1)

(2)

(3)

(4)

★上の(1)～(4)、「名詞分詞その他の語句」の順番になっていますか??

もう一度確認してみてください。

5 1 《分詞》穴埋めしなさい。

(1)あのテレビを見ている少年を見なさい。

Look at that ()()().

(2)これは亜紀が作った夕食です。

This is ()()()().

(3)あの夕食を食べている少年は太郎です。 ※that を使うこと

()()()() is Taro.

(1)				
(2)				
(3)				